資料１

株式会社和光輸送の市内循環バス実証運行継続について

令和6年9月

和光市都市整備部公共交通政策室

当該会議における検討事項について

- ㈱和光輸送の市内循環バスの運行については、道路運送法第21条に基づく、**実証運行**となっている。
- 現在の実証運行の認可期間は1年間（令和6年1月4日～令和7年1月3日）となっている。
- 次期間の運行継続に際して、**「実証運行の継続」「本格運行への移行」**のどちらかを選択する必要がある。
- 当該会議において、現状の運行実績及び課題等を考慮し、令和7年1月以降の運行の在り方を検討する。

株式会社和光輸送による運行開始の経緯

- 和光市内循環バスの見直し検討（令和4年4月～）
- 新たな運行計画の概要決定（令和5年3月）
- 新たな運行経路の運行事業者の選考（令和5年4月～5月）
- 運行事業者を㈱和光輸送とすることを承認（令和5年6月）
- 道路運送法第21条に基づく実証運行の認可（令和5年12月）
- **実証運行による運行開始（令和6年1月4日）**

運行見直し後の実績（5路線分）

運行見直し直後から利用者数は漸増傾向となっており、前年同月と比較しても、1月を除き同等か前年以上の数値となっている。また、利用者数の伸びに伴い、運賃収入も漸増傾向となっている。

- 利用者数及び運賃収入（令和6年1月～７月）

	利用者数		運賃収入	
	令和6年	令和5年（前年）	令和6年	令和5年（前年）
1月	８,８５４	１０,６２２	１,０３６,１７３	５４１,３９４
2月	１０,３１０	１１,３６３	１,２４９,５８９	６０２,４１０
3月	１１,７４３	１２,７０２	１,３７７,２０１	６４３,４３０
4月	１２,４５３	１２,８８３	１,４３５,８３９	６３３,９９２
5月	１２,６７５	１３,２５５	１,４８１,４６２	６８１,７６０
6月	１３,０５６	１３,４９８	１,６０５,６４５	７１６,１５１
7月	１５,９２１	１４,０６５	２,００５,５４０	７８１,５７０
合計	８５,０１２	８８,３８８	６,５２８,４８６	４,６００,７０７

運行見直し後の実績（和光輸送運行路線分）

㈱和光輸送が運行する2路線についても、運行見直し直後から利用者は漸増傾向となっている。また、運賃収入についても運行見直し直後の2倍近くまで増加している。

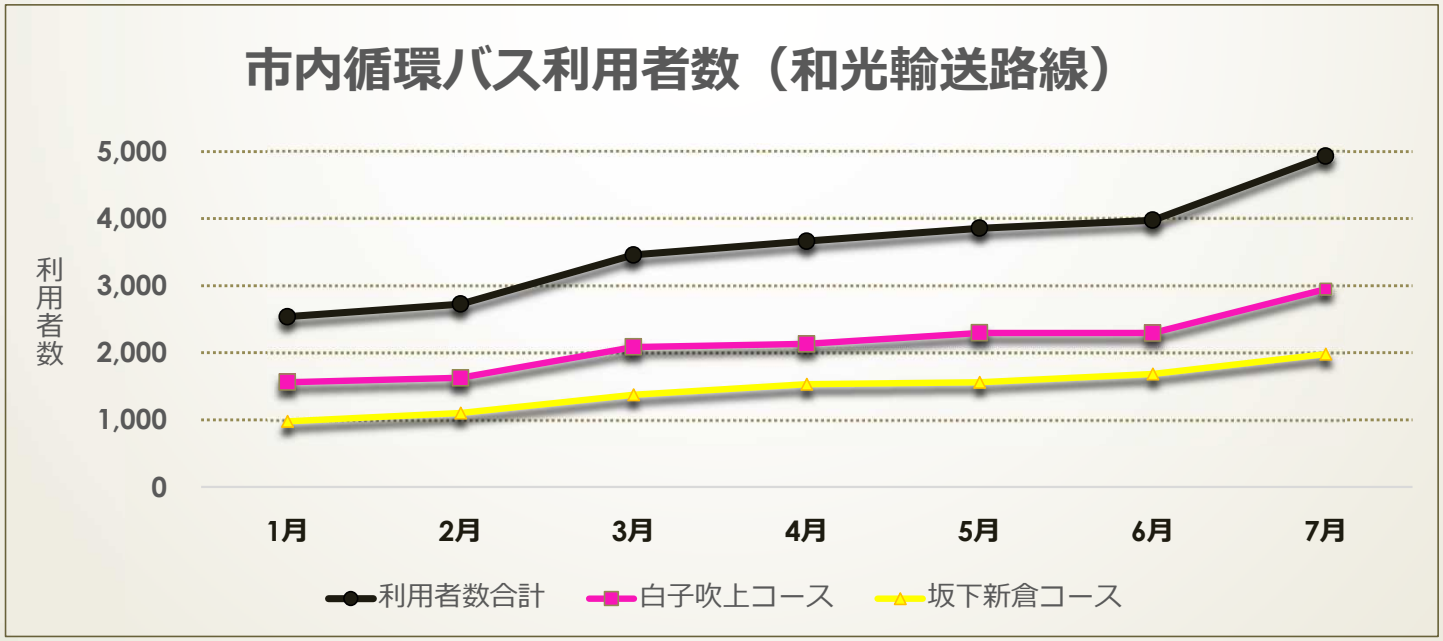
- 利用者数及び運賃収入（令和6年1月～７月）

	利用者数	内訳		運賃収入
		白子吹上	坂下新倉	
1月	２,５３６	１,５６０	９７６	２８６,３９０
2月	２,７２５	１,６２３	１,１０２	３１８,５５０
3月	３,４５６	２,０８４	１,３７２	３５５,９６０
4月	３,６６１	２,１２９	１,５３２	３８６,５１０
5月	３,８５４	２,２９４	１,５６０	４０９,０２０
6月	３,９７３	２,２９１	１,６８２	４３５,１００
7月	４,９３１	２,９４９	１,９８２	５５０,７５０
合計	２５,１３６	１４,９３０	１０,２０６	２,７４２,２８０

運行見直し後の実績（和光輸送運行路線分）

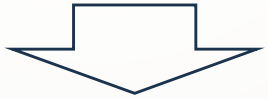
㈱和光輸送が運行する２コースの利用者の増加状況は下記のとおり。特に坂下新倉コースの利用者は当初の2倍以上となっている。

- 白子吹上コース：令和6年1月から7月までの増加率は約1.89倍
- 坂下新倉コース：令和6年1月から7月までの増加率は約2.03倍



ここまでの運行実績の整理

- 運行見直し直後は利用者が少なかったものの、月ごとに全路線共に増加傾向にある。
- 総利用者数についても前年同月と同等の値となってきている。
- ㈱和光輸送が運行する2路線についても利用者は毎月増加しており、坂下新倉コースは特に利用者が増えている。
- 利用者の増加に伴い、各路線とも運賃収入も増加している。



- **現状、利用状況については順調に推移しているといえる。**

市内循環バス運行上の課題

㈱和光輸送が運行する路線について、利用者や運賃収入は順調に増加している。一方、運行開始後に利用者等から寄せられた課題も複数存在している。主な課題については下記のとおり。

≪主な課題≫

- 交通系ICカードの読み取りに手間がかかる。
- 車両の段差や車内の通路が狭く、シルバーカーの利用が不便。
- 坂下新倉コースにおいて、利用者が乗り切れない事例が発生
- 運賃支払いに手間がかかる。

↳ **上記課題について、令和７年度において対応方針を検討。**

主な課題への対応方針の検討

ここまで確認された課題等については、下記のとおり、それぞれ改善策を検討し、より利便性の高い運行の在り方を検討していく。

≪主な対応方針案≫

- 交通系ICカードの読み取りに手間がかかる。

  →**新しいICカードリーダーの導入検討**

- 車両の段差や車内の通路が狭く、シルバーカーの利用が不便。

  →**マイクロバスに代わり、ポンチョの導入検討**

- 坂下新倉コースにおいて、利用者が乗り切れない事例が発生

  →**乗務員と営業所間での適切な情報交換**

- 運賃支払いに手間がかかる。

  →**フリーパス（回数券）の導入検討**

令和7年1月からの運行について

現在の運行上の課題を踏まえ、令和７年１月からの運行については、それぞれの解決方針の具体化及びそれらの効果検証を行う。

また、現状の運行における課題等について、運行事業者（運行管理者及び乗務員等）からの意見聴取も実施し、多角的な課題把握及び改善策を検討する。

- **課題の整理及び解決方針も踏まえ、より効率的かつ持続可能な本格運行の計画を検討する。**
- **そのため、令和7年1月からの運行については、引き続き、<u>現在の実証運行を継続</u>する。**

今後のスケジュール案

当該会議から和光輸送㈱の本格運行開始までのスケジュール案については下記のとおり。

- 和光市地域公共交通会議における検討・承認（当該会議)
- 埼玉運輸支局への継続申請（令和6年9月下旬）
- 2年目の運行開始（令和7年1月～）
- 本格運行に向けた運行概要の検討（路線、ダイヤ、車両等）
- 和光市地域公共交通会議における承認（令和7年8月頃）
- 埼玉運輸支局への申請（令和７年9月）

- **㈱和光輸送による本格運行の開始へ（令和8年1月）**

実証運行継続への承認について

- 以上、㈱和光輸送による実証走行の継続について、御承認くださいますよう、お願い申し上げます。
- 承認の可否及び御意見等については、同封の回答様式にご記入ください。